



特集2

水泳の授業、**プロ**に任せます

令和8年度より、市内全小学校の水泳授業を民間スイミングスクールへ委託しています。子どもたちの泳力向上を図りながら、安全な水泳指導を実現するための取り組みをご紹介します。 ■ 学校教育課

水泳授業を民間委託する背景

近年、水泳授業をめぐるさまざまな課題が顕在化していました。

●天候による授業中止の増加

雷雨や夏季の記録的な気温上昇などで、児童の健康面の懸念による屋外プールでの授業中止が増加していました。そのため、十分な泳力を身につけないまま学年が上がる児童が増えるという問題も生じていました。

●教員の不足と負担

専門的な水泳指導の経験を持つ教員が減少し、授業の運営や施設管理などにより教員の負担が大きくなっていました。また、安全管理への不安も高まっていました。

●校内プールの施設維持の負担

プールの老朽化が進み、施設の維持や修繕、管理などに多くの費用がかかっていました。

何が変わるの？ — 4つのメリット —

メリット
1

専門コーチによる質の高い指導

水泳指導のプロが、丁寧な指導を担うことで、全ての児童が泳力に応じて学ぶことができます。

メリット
2

安全管理の強化

教員が児童の安全監視に集中することができ、より安全な授業環境が確保されます。

メリット
3

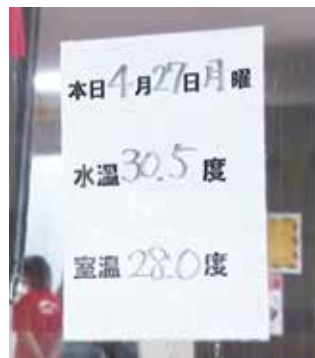
屋内・温水プールの活用

常に室内と水を適温に保つ設備を整えた屋内プールを使用するため、熱中症リスクが低減できます。また、季節や天候に左右されず安定した授業日数が確保できます。

メリット
4

教員の負担軽減

水泳授業の準備や安全監視などの業務が軽減でき、その分の時間を他の授業の充実や児童との関わりに充てることができます。



委託する
スイミングスクール

- 株式会社イトマンスポーツスクール
- 小郡スイミングスクール有限会社
- 有限会社太宰府スイミングクラブ

・ 学校教員のインタビュー ・



二日市小学校 たかまつ さとる 高松 暁 先生

これまで、安全上の理由などで、子どもたちが実際にプールの中に入れるのは、わずかな時間でした。また、教員が体育の教科書を見て勉強しながら指導し、子どもたちの泳力に合った指導はできませんでした。今はプロが教えてくれることで、子どもたちが自分に合った泳力に分かれ、時間いっぱい、しっかり学ぶことができていると感じます。

授業の準備やプールの掃除、水の管理などの負担も減り、授業が計画的に進められるため助かります。また、猛暑などで水泳の授業が中止になり、他の科目に入れ替わると、子どもたちの気持ちが下がってしまい、大変でした。今は安定して水泳の授業ができるため、子どもたちの気持ちや意欲を維持しやすくなったことも良かったと思います。

二日市小学校 うえむら なお 上村 奈央 先生

知識がないので泳ぎ方の指導には苦労していました。プロの皆さんは、さまざまな泳ぎ方を教えてくれますし、一人ひとりの泳力を確認して丁寧に指導してくれます。プールサイドから見ていて、子どもたちの泳ぎがどんどんうまくなっているのが分かるのでうれしいです。

・ スイミングスクール
指導者のインタビュー ・



イトマンスイミングスクール太宰府校
スクール長 ささき あきひろ 佐々木 章博 さん

指導の技術はもちろん大切ですが、水が苦手な子どもたちが水泳を好きになるためには、きっかけが必要です。それは、「自分が頑張ったことで笑顔になってくれた」「褒めてくれた」などの喜びや、楽しい経験であることが多いです。楽しいという気持ちは相手に伝わるので、私たちは、自分自身が楽しんで教え、水泳の楽しさを伝えたいと思っています。それがきっかけとなって、子どもたちが水や泳ぐことを好きになってくれたらうれしいです。

また、学校の先生とお互いに指導の専門知識や技術を共有し、協力してもらうことで、より良い指導ができると考えています。



安全が第一です。指導者1人あたり12～13人の子どもを見ています。さらに、学校の先生たちもプールサイドから見守っています。

・ 子どもたちの声 ・



- 細かい技術を分かりやすく説明してくれるので、うまく泳げるようになる方法を教えてもらっていると感じています。
- 水遊びではなくスポーツをしている実感があって楽しいです。
- 以前は水が苦手でしたが、泳ぐのが好きになりました。家族で海や川などに遊びに行くことが楽しみです。

夏休みの
小学校のプール
一般開放について

夏休み期間中に、小学校のプールを一般開放していましたが、猛暑などにより、利用者の安全確保ができないため、一般開放を行わないこととなりました。

問 文化・スポーツ振興課 スポーツ施設担当